

【兵庫県猪名川町】

校務DX計画

1. 校務支援システムのクラウド化

学校現場において様々な校務で利用している校務支援システムについては、現在オンプレミスで運用しています。今後、学習eポータル等汎用クラウドツールと連携し、教職員間の負担軽減・コミュニケーションの迅速化や活性化を可能とする環境を構築するため、文部科学省「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の状況や先行自治体の導入事例を注視しつつ、校務支援システムの次期更新時のクラウド化を検討します。

2. 校務効率化に向けた各種クラウドツールの活用

本町では、保護者連絡アプリのほか、令和7年7月からは「Google Workspace for Education」を用いる予定としており、教員・児童生徒・保護者・教育委員会間の連絡にクラウドツールを活用することで、業務の効率化を図っています。

今後は、1人1台端末の活用で蓄積された学習系データを収集・分析・可視化する管理ツール（教育ダッシュボード）により、情報の効果的な活用を図るほか、会議のオンライン開催や積極的な既存・新規ツールの活用を通じて、より一層の業務効率化・職員の負担軽減を推進します。

3. FAX・押印の見直しに向けての検討

令和5年12月に文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告によると、保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があり、クラウド環境を活用した校務DXを大きく阻害していることが指摘されています。

本町においても全ての小中学校でFAX・押印の原則廃止まで至っていないことから、緊急連絡時や教育ネットワークの不具合時、FAXの方が電子メール等より効率的な場合など一部を除き、FAX及び押印の原則廃止に向け、各種関係機関及び学校と関わりのある事業者に対して教育委員会から慣行の見直しを依頼するなど、継続的に働きかけを行います。

4. ペーパーレス化の推進

本町では、保護者連絡アプリによる保護者・児童生徒への連絡のデジタル化、学校ホームページの活用により、ペーパーレス化を推進してきました。

今後は、各種クラウドツールのさらなる活用により、職員間の情報共有資料・会議資料のペーパーレス化を一層推進します。